

平成 2 4 年度大分県生涯学習情報提供システム事業評価報告

大分県立社会教育総合センター

1 目的

本報告書は大分県生涯学習情報提供システム管理運営要綱第 2 条の目的を達成するため、標記システムの事業評価を行う。

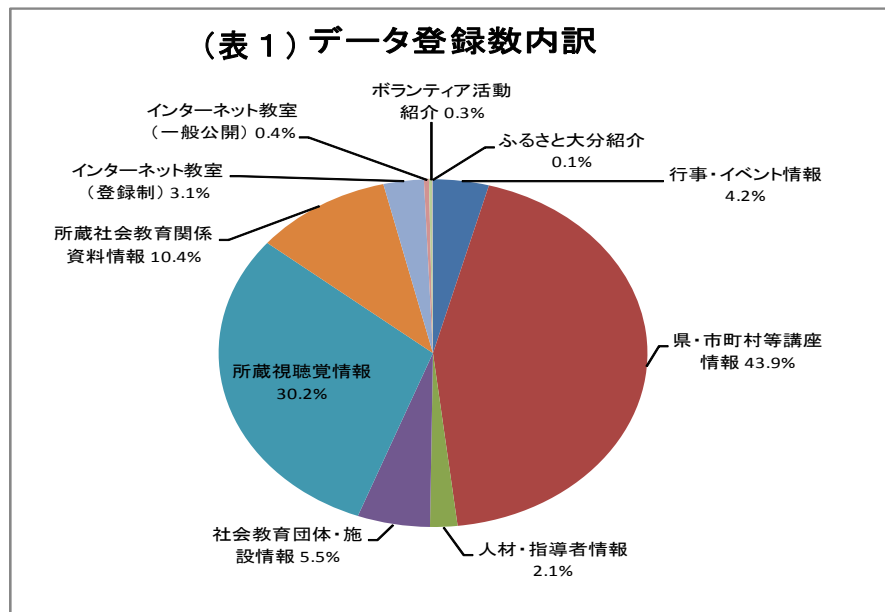
2 新大分県総合教育計画の目標値と今年度の実績値及び評価

(1) データ登録数 (注 1)

目標値	2 4 年度実績値	2 4 年度目標達成率	2 3 年度実績値
1 2, 1 0 0 件	6, 9 4 1 件	4 6. 8 %	5, 5 7 1 件
<p>評 価</p> <p>2 3 年度はシステムの改修に伴い、大幅にデータの登録件数が減少したが、前年度比、1, 3 7 0 件増となった。</p> <p>今後も引き続き、知事部局・市町村・大学・N P O 等に情報提供の協力を依頼し、生涯学習・社会教育情報に関するデータ収集に努め、目標値の達成を行う。</p>			

(注 1) データの内訳

- ①県・市町村・大学等イベント・講座情報 (2, 9 2 6 件)
- ②人材・指導者情報 (1 2 7 件)
- ③社会教育関係団体・施設情報 (1, 3 5 8 件)
- ④インターネット教室など動画配信 (2 3 5 件)
- ⑤当センター所管視聴覚教材情報 (1, 6 8 2 件)
- ⑥当センター所蔵文献情報 (6 1 3 件)



(2) アクセス件数 (注2)

目標値	24年度実績値	24年度目標達成率	23年度実績値
295,000件	319,863件	107.6%	264,793件
<p>評価</p> <p>「まなびの広場おおいた」は、23年度にシステム改修によりアクセス件数が上昇しており、昨年度比5万5千件（20.7%）増で目標値を達成した。最も利用頻度が高いコンテンツが講座情報等のデータベース機能である。県民ニーズ応えるためにも更なる機能の充実・利便性、データ増を図る予定である。</p> <p>来年以降も多くの県民の方へ利用していただくために、様々な機会での広報として、テレビやラジオなどメディアを活用した広報、公共施設やコンビニエンスストアなどでの広報チラシの配布など、あらゆる手段を講じていく。</p>			

(表2) 大分県生涯学習情報提供システムへのアクセス件数

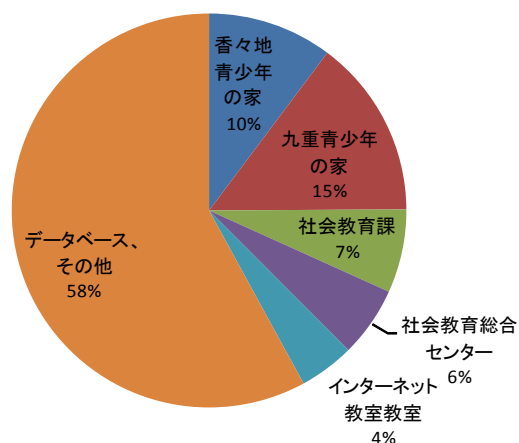
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
31,909	36,147	34,961	39,356	31,524	25,567	26,582

11月	12月	1月	2月	3月	総計
18,770	20,629	19,425	16,392	18,601	319,863

(表3) 「まなびの広場おおいた」
各コンテンツアクセス数

香々地青少年の家	32,691
九重青少年の家	46,966
社会教育課	21,942
社会教育総合センター	18,448
インターネット教室	14,461
データベース、その他	185,355
合計	319,863

(表4) 「まなびの広場おおいた」ア
クセス数内訳



3 施設利用者アンケートによる評価

施設利用者114名に、以下の項目についてアンケートを実施（H25.1）した。

平成24年度「おおいた学びの輪」推進事業

ホームページ「まなびの広場おおいた」集計結果（「おおいた学びの輪」受講生114名分）

1 「まなびの広場おおいた」をご覧になったことはありますか。

閲覧経験	H24	H23
①ある	23	39
②ない	91	130
計	114	169

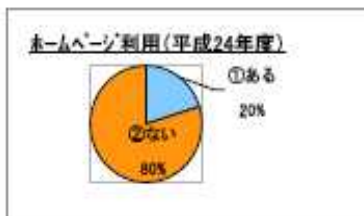
①と答えた方に

ア 求める情報が提供されていますか

イ タイムリーな情報が提供されていますか

ウ 使いやすいホームページとなっていますか

エ 利用頻度はどれくらいですか



	H24		H23	
	(a)はい	(b)いいえ	(a)はい	(b)いいえ
ア	22	1	30	2
イ	22	1	26	3
ウ	22	1	27	5

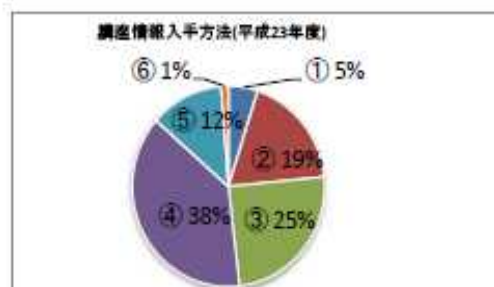


エ	(a)毎日	(b)2～3日に1回	(c)1週間に1回	(d)月に1回	(e)その他
H24	0	0	4	8	20
H23	2	0	4	7	11

2 「まなびの広場おおいた」で利用した(またはしたい)情報は何か。

* 複数回答あり

入手したい情報	H24	H23
①当センターの施設紹介	4	4
②当センターの事業紹介	13	15
③インターネット教室	5	20
④県内の生涯学習講座	16	31
⑤県内の講師情報	12	10
⑥特になし	30	1
計	80	81



【アンケート項目についての主な評価】

○システム（まなびの広場おおいた）の利用率

システム利用者は、アンケートの結果、2割程度（昨年度より5%増）で、依然として利用率が低い。利用率を高め、アクセス件数の増加を図るために、センター主催の研修会や講座等で、実際にシステムを紹介する時間を確保するなど、利便性を訴えていく必要がある。また、様々な団体へ広報チラシの配布などシステム利用促進を図り、広報活動をあらゆる場で行っていく。

○システム（まなびの広場おおいた）の情報提供

今年度、システムに新たに「県・市町村講座情報」、「人材・指導者情報」、「センター所蔵視聴覚教材情報」など多くのデータベース機能を追加したため、利便性は大幅に向上している。しかし、以前から旧システムに慣れている利用者は、新システムの操作画面に慣れていないなど評価が低下している。

今後は、利用者にとって操作が簡単で、使いやすいシステムの実現を目指すために、ヘルプなど説明機能等の充実も図っていく必要がある。

○システム（まなびの広場おおいた）で利用したい情報

利用者が入手したい情報として、社会教育関係団体の活動紹介、インターネット教室における「おおいたの歴史」「災害対策」の講座配信であった。これらの情報は、システム改修により情報を提供しているが、利用者にはあまり知られていない。今後、館内利用者にシステムを実際に体験してもらうことも必要である。

4 総合評価

各評価項目に対する達成度は、例年と比較すると大きな変化がないが、アクセス件数が約5万5千（昨年度比20.7%増）と大幅に増加し、目標値に達して初めて30万件を超えた。

インターネット教室は、23年度より登録制を廃止して一般開放としたことにより、アクセス件数が14,806件で過去最多となり大きな収穫となった。今後は、インターネット教室の受講年齢層の拡大及び地理的・時間的に制約のある県民の方に学習機会を提供するためにも、広報・周知活動（知事部局や市町村教育委員会等との連携）に取り組む必要がある。

平成25年度は、県民ニーズを分析し、様々な機関から情報を収集して、データの整備・充実を図り、各種データベース機能の見直しを行い、システムの操作性を向上する予定である。